

マダガスカルへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2025年11月26日発出（継続/内容の更新）

全 土	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続） その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため 特別な注意が必要です。
-----	--

【ポイント】

- 2025年9月末から10月上旬にかけて、首都アンタナナリボ(Antananarivo)を中心に、慢性的な停電・断水への不満を背景としたデモが同時多発的に発生し、一部では商店襲撃などの暴徒化も確認されました。その後、要求は政権交代へと発展し、軍の一部がデモ隊を支援した結果、当時の大統領は国外へ退避し、軍部主導の暫定政権が樹立されました。今後も政治情勢は一定程度流動的な状態が続くとみられ、場合によってはデモや道路封鎖を始めとする新たな抗議行動が発生する可能性もあります。
- 貧困に起因する強盗、スリ、ひったくりといった一般犯罪が多発しており、注意が必要です。
- 身代金目的の誘拐事案が多数発生しており、注意が必要です。

【概況】

- (1) マダガスカルでは、首都アンタナナリボ(Antananarivo)を中心に、長時間にわたる停電や断水が慢性化しており、都市住民の間では政府に対する不満が蓄積しています。こうした状況のなか、9月下旬に国内各都市で同時多発的に抗議デモが発生しました。当初、抗議デモは「水・電力供給の改善」を求める平和的なものでしたが、一部の参加者が暴徒化し、商店や特定政治家の私邸を襲撃する事態も確認されています。その後、デモ隊の要求は「大統領の辞任・政権交代」へと拡大し、10月12日以降は軍の一部部隊がデモ隊側を支援し、当時の大統領が国外に退避する事態に至りました。その後、軍部主導による暫定政権が樹立されています。このような経緯から、今後も政治情勢は一定程度流動的な状態が続くとみられ、場合によってはデモや道路封鎖を始めとする新たな抗議行動が発生する可能性もあります。
- (2) マダガスカルは世界でも有数の最貧国の一つであり、深刻な貧困状況を背景に、強盗やスリ・ひったくりなどの犯罪が多数発生しています。
- (3) 誘拐事件が高い水準で発生しており、2025年にも多数の事例が確認されています。これらの誘拐は身代金を目的とするもので、主にインド・パキスタン系実業家やマダガスカル人富裕層が標的となることが多いですが、その他の外国人が対象となる可能性も排除できません。また、一部の事件では、被害者が殺害される事例も報告されています。
- (4) これまでに、マダガスカルにおいてテロによる日本人の被害は確認されていませんが、近年、警備や監視が手薄で一般市民が多く集まる場所を標的としたテロが世界各地で頻発しており、常に注意が必要です。

また、テロや誘拐に関する情報については、「テロ・誘拐情勢」

(https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_119.html) も参照してください。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ： <http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903

外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306

外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047

までお問い合わせください。